

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法管理運営学		選択	1	3	後期(前半) (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小川 麻里子	C315	m.ogawa	木曜日 10:40~13:00		
授業の目的・概要	将来、作業療法士として社会の一員として働くために、関連する制度や業務内容、職場管理、職業倫理について理解することを目的とする。授業では、教科書だけでなく配布資料などを用いて最新の医療福祉制度を学ぶとともに、Teams を利用した意見交換やグループワークを行い包括的な理解につなげる。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	作業療法概論などの復習をしてから受講することを推奨する。また、日々の報道情報を通して、医療事故や医療管理の案件に注視しておき、医療管理運営の観点から考察をする。 新カリキュラムでは必修科目(作業療法管理学)になっている内容のため作業療法士国家資格を目指す学生は、履修しておくことが好ましい。				
教科書	作業療法管理学入門 第2版/編:大庭 潤平/医歯薬出版				
参考書	リハビリテーション管理学/編:齋藤 昭彦/羊土社 リハビリテーションリスク管理ハンドブック 第4版/編:亀田メディカルセンター/MEDICAL VIEW 作業で結ぶマネジメント/編:澤田 辰徳/医学書院				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	作業療法に必要なマネジメントについて説明できる。		HSU(2)(5)、OT(2)(3)		
②	作業療法に関連する医療福祉制度を説明できる。		HSU(2)(5)、OT(2)(3)		
③	作業療法部門の管理・運営に関する必要事項を具体的に述べるができる。		HSU(2)(5)、OT(2)(3)		
④	作業療法の記録や報告の重要性を理解できる。		HSU(2)(5)、OT(2)(3)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	組織の成り立ちと作業療法におけるマネジメントについて学ぶ	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
2	作業療法と医療サービス、情報のマネジメントについて学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
3	医療安全と作業療法業務の人・物・経済性のマネジメントについて学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
4	作業療法業務の情報・時間・ストレスのマネジメントについて学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
5	作業療法士の役割と職域、職業倫理について学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
6	作業療法をとりまく諸制度について学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
7	作業療法臨床実習の理解と管理体制、作業療法士のキャリア開発について学習する	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
8	まとめ	同時双方向型授業	教科書と配布資料を参考に復習する。		1
試	筆記試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		20	0	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布資料・板書ノートの内容に基づく問題および応用問題を出題し、理解度を問う。				研究室(C315)もしくはリモート等で試験結果を個別に開示し、解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	本科目の担当教員は、作業療法士として10年以上の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	テキストと合わせて臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。							
そ の 他	Teams を使った同時双方向型授業を行う。 授業時は通信容量が無制限のインターネット環境を推奨する。課題や資料のダウンロード、動画視聴などがあるため、通信容量制限のある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。							